



民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりと生活支援拡充について

養田 庸子 (日本共産党)



【民生委員・児童委員の活動環境について】

問 民生委員・児童委員の今日的役割は何か。

答 支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役として、地域福祉の増進のため、重要な役割を担っている。

問 5月実施の委員対象アンケートでは、活動上の負担感には何かがあるか。

答 活動に対する責任感、家庭や仕事との両立などである。

問 行政への要望は何かがあるか。

答 業務内容や活動費用の見直しと行政のサポートである。

問 市として環境づくりが必要ではないか。

答 職務の増大が懸念されている中、関連施策に積極的に関わることが期待されている。アンケートの結果を踏まえ、検討を進めており、活動費についても検討していく。



【生活支援の拡充について】

問 学校給食費の無償化についての考えは。

答 国の方針に基づき、全国一律に取り組んでいくべきものと考えている。

問 子育て支援として入学祝金の創設についてはどうか。

答 入学祝金等の支給、保育園等へ通園する3歳未満児の保育料無償化を令和6年度から実施できるよう検討を進めている。

問 物価高騰に対応する国の補正予算の推奨事業を受け、市の事業として、省エネ家電等への買換えに対する生活者支援やプレミアム商品券の配布計画はあるのか。

答 現在のところ計画はない。市全体の生活者支援について、現在各課に調査中である。



令和6年度の予算編成及び市営住宅使用料の子育て世帯軽減策について

小川 圭三 (天政会)



【令和6年度の予算編成について】

問 予算編成の手順はどうなっているのか。

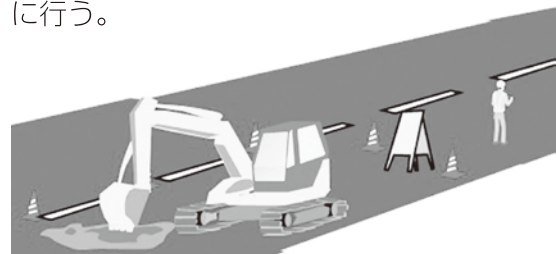
答 10月初旬に予算編成・経営方針を各部署等へ通知し要求が上がる。財政課での査定後、最終的に市長が査定し議会に提案する。

問 歳入や財政調整基金の見込みは。

答 普通交付税が約201億円(40%)、国県支出金が約100億円(20%)、市税が約74億円(14%)である。財政調整基金の積立額は約133億円の見込みである。

問 市長は1期目の最終年度に重点施策として、どのような事業を考えているのか。

答 第一次産業の振興策として新規就業者の確保、農業経営の効率化と担い手不足対策として天草型スマート農業の推進を図る。また、里道の維持補修を市が実施するほか、市道や河川の維持工事などの予算の拡充、さらに、地域課題や政策課題の対応を着実に挙げる。



【市営住宅使用料の子育て世帯軽減策について】

問 本渡周辺地域の市営住宅については、収入超過等での退去により、入居している児童が転校することで複式学級になるおそれがある。子どもが高校を卒業するまで使用料の軽減措置及び月1~2万円の補助ができないか。

答 公営住宅法等により軽減措置はできない。また、市内には持ち家や賃貸住宅などもあり、補助金等の支出は公平性に欠ける。今後、子育て支援の中で支援策を検討する。



消防・防災組織、郵便局への窓口業務委託及び婚活について

赤城 史浩 (無党派)



【常備消防強化について】

問 消防団の減少が避けられないことを考えれば、常備消防の強化が必要と考えるが市の考えは。

答 全体的な消防力を維持するため常備消防の強化は1つの方策であるが、財政的に厳しいと認識している。

要望 消防本部を運営する天草広域連合の構成市町として、常備消防強化について主体的な議論を強く要望する。

【郵便局への窓口業務委託について】

問 出張所廃止に伴う郵便局への窓口業務委託後の地区振興会との連携について市の考えは。

答 これまで担っていただいた住民の拠り所として、市と郵便局と振興会の三者で住民サービスのよりよい体制づくりを目指す。

要望 今後は、各事業決定前に説明会を開き住民に対し周知を徹底し、地域住民の意見や要望を取り入れながら柔軟に対応していただくことを強く要望する。

【A I婚活システム導入について】

問 A Iを活用した婚活システム導入について市長の考えは。

答 この施策に取り組むには予算及び責任を伴うため、私から天草2市1町で事務方の協議を開始するよう要請する。

要望 今後、A I婚活システム導入やその他新規結婚支援事業を天草2市1町で連携し協議・検討することは有意義であり、今後の進展に期待する。



妊娠・出産・子育て支援について児童生徒を取り巻く環境について

柴田 誠 (政友会)



【不妊・不育症治療費助成事業について】

問 不妊治療・不育症治療費助成を受けられた方の声を反映し、事業の見直しを行う必要があると思うが市の考えは。

答 不育症治療費助成事業については、令和6年度から保険適用外の治療まで拡大する。

【小・中学校入学時の支援について】

問 小・中学校入学時の入学祝金の支給はできないか。

答 天草の宝である子どもたちの健やかな成長を支援するため、入学祝金などの支給や保育園等に通園する3歳未満児の保育料無償化について、令和6年度から実施できるよう検討を進めている。



【体育服での登下校について】

問 個人情報わかるゼッケンのついた体育服での登下校について市の考えと対応は。

答 学校においては、日頃から犯罪に巻き込まれないよう注意し、万が一の危機対応についても指導をしている。ゼッケンに関しては、本市教育委員会から校長会議において、学校長へ注意喚起をしたところであるが、本市の強みである地域の力を支えにしながら、防犯教育をさらに強化したいと考えている。